

渋谷区立加計塚小学校

ICT教育推進に向けた学校の取組

ICT機器を活用した学習環境づくりを教員一丸となって推進しています。主体的・対話的で深い学びの充実を図るとともに、それを活性化する教師の役割として、「聴く・つなぐ・もどす」を意識して、授業改善を図っています。office365をはじめとする様々なアプリケーションを活用し、新たな学びに積極的に挑戦しています。

渋谷タブレットの日 「プレゼンテーションソフト・Teamsの課題配信機能・投稿等の活用」 第5学年・教科等「社会」・単元名（活動名）「くらしを支える工業生産」

① 授業のねらい

日本の工業生産の特色や、工業の盛んな地域の特色についてまとめ、学習問題に対する考えをまとめる。

② 児童の様子

教員から配信されたファイルを活用して、すすんで活動に取り組んでいました。まとめる際は、教科書・ノートなど、これまでの学習の蓄積を生かそうとする姿勢が見られました。

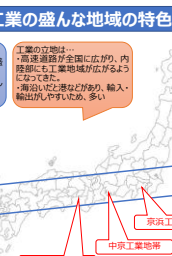
③ ICT活用の工夫

- 課題の配信機能の活用…一斉にファイルを配信できるとともに、提出状況・取組状況がすぐに可視化でき、評価がしやすくなりました。
- 予備のスライドを用意…配信ファイルには、予備のスライドを付けておきました。テキストボックス等が消えてしまった場合にはすぐにコピーできるようにし、スムーズに作業ができるようにしました。
- 課題提出後は、同作品のキャプチャを社会科チャンネルに投稿…短時間で相互に作品を見合い、日本の工業についての理解を深められるようにしました。キャプチャ（Windows+Shift+Sのショートカットキーを活用）を投稿することで、ファイルを開く時間が省かれ、相互交流が活発となりました。



工業生産と、工業の盛んな地域の特色

失業者は少く、大半は高卒の層に工業が多い。海沿いと港などがあり、輸入・輸出がしやすい。多い。



日本の工業の特色
・日本の工業数と働く人は中小工業の方が多く、生産額はほぼ同じくらい。
・機械工業がほとんどの工業地域で盛んになっている。

昔と現在の工業を比較すると
・昔はほとんど工業が中心だったが、現在は家電などが増えたため、機械工業が中心となり、機械工業は減少した。

校内のタブレット活用の道標として 「surface 活用推進プラン」

タブレット活用について、校内での共通理解を図るために、発達段階に応じて経験させたい「ミニマム」である「surface 活用推進プラン」を策定しました。
進級に伴って担当等の変更があっても、子供たちがスムーズにタブレットを利活用できることをねらっています。

Surface 活用推進プラン (これだけは確実に習得させたい「MINIMUM」) 2021/03/19ver						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
Surface	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
Teams投稿	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
Teams会議	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
ファイル	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
Word	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
Excel	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
PowerPoint	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
Forms	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
OneNote	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
スクリーンショット	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
ドリルパーク	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
ムーブノート	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
オンラインクイズ	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
タイピングスキル	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→
検索スキル	1. 授業で活用できる環境を整える。	→	→	→	→	→

成果と課題（次年度以降の取組について）

成果は、タブレットの活用方法の共有が進んだことです。職員室内で授業について語り合ったり、タブレットの有効な活用方法を話し合ったりすることが増え、有効な活用を学校全体で展開できるようになってきました。

課題は、教員のタブレット活用技術の一層の向上、児童の習熟具合を評価すること、活用方法の継承をしていくことです。そのために授業実践の一層の充実、教育課程の見直し等に着手していきます。